

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス メーブルリーフ		公表日	令和8年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用定員は10名であり、スペースには十分な余裕がある。</li> <li>・プレイルームでは複数の活動や大人数での活動を行うことができる。</li> <li>・プレイルーム・感覚統合室・TVルーム・学習室などその場の活動に合わせて活動することが出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースは広く確保されているが、部屋数が多いため全体の状況を把握することに難しさがある。</li> <li>・部屋数が多く、スペースが広い為、全体を使って遊ぶことができるがすべてが繋がっているわけではない為行き来や子供の様子を全て見る事が出来ないことがある。</li> <li>・扉や壁が多く、出会いがしらでぶつかりそうになることがある。</li> <li>・全体を一度に見ることが出来ないの各部屋にモニターを検討中である。</li> </ul>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置については基準上の問題はない。</li> <li>・適切である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として利用者10名に対して職員2名に加え、加配職員を配置しており体制としては問題ないが、男性職員が少ないことや育児休業取得者、育児短時間勤務者がいることから、安定的な人員配置が難しい状況がある。</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造化支援については令和8年2月より試験的に開始しており、次年度から本格的に実施する予定である。今後は、利用児童の特性に応じた支援の強化を図っていく。</li> <li>・物の位置を変えたり、何があるかわかりやすいイラストや写真を使っている。</li> <li>・物の入っているケースに何が入っているかわかるようにしている。</li> <li>・玩具などはどこに何があるのか写真を貼って分かる様になっており、構造化をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の構造上、バリアフリー化には対応していない。</li> <li>・10cmほどの段差があり、バリアフリー化はされていない。</li> <li>・玄関から廊下に行く際に段差がある。</li> <li>・元民間施設だったのもあり、玄関と入り口は段差が大きくバリアフリー化はされていない。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔な環境を保つように、日常的に指導を行っている。</li> <li>・毎日30分程度の清掃時間を設け、子ども達も一緒に環境整備に取り組んでいる。</li> <li>・普段の掃除や年末の大掃除で清潔な環境になっている。</li> <li>・毎日、子どもと一緒に掃除を行っており、常に清潔であると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日掃除を行っているが、調理等で飛んだ汚れはカーペットにしみついてしまっている。次年度改装予定である。</li> <li>・調理の油跳ねや尿などがあると床の清掃がしにくい。</li> <li>・プレイルームがカーペットなのもあり、汚れやしみが蓄積しており、次年度フローリングにする予定である。</li> </ul>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容に応じて部屋を分けるなど、環境面での配慮を行っている。</li> <li>・子ども達も必要に応じて自由に部屋を利用することができる。</li> <li>・1人で落ち着きたい時など使用しても良い事を伝えている。</li> <li>・学習室や更衣室で子どもが落ち着くことができる場所として使用している。</li> <li>・一人で落ち着きたいときは、学習室や感覚統合室や更衣室などでクールダウンすることが出来ている。</li> </ul>	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを行っている。</li> <li>・会議などを開いたり、強度行動障がいがある子には氷山モデルをつくり、職員でアセスメントをとり、良い支援を目指している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の業務の中でPDCAサイクルを実施するまでには至っていないが、外出活動の際にはリスクマネジメントを行い、事前にリスクの軽減を図っている。また、活動後には振り返りを行い、次回の活動に活かすよう配慮している。なお、次年度は事務所の移動により、PDCAサイクルを意識した取り組みを行う時間を確保できると考えている。</li> <li>・分からない</li> </ul>

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの意見があった際には、その内容を踏まえ業務改善に活かしている。</li> <li>・面談等でいただいた意見についても、職員会議等で共有しながら業務改善に努めている。</li> <li>・全ての保護者から意見があるわけではないが頂いた意見はまとめている。</li> <li>・保護者向けの評価表を行っている。</li> <li>・面談などで、要望や困りごとについて聞いており、意見が出た際には、すぐに改善をしている。</li> </ul>		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議等で意見を出しやすい環境づくりを行い、日々の業務の中で挙がった意見をもとに業務改善に取り組めるよう心掛けている。（日々の会話を大切にしている。）</li> <li>・機会は設けていないがその場その場でこうして行こうという話はしている。</li> <li>・ミーティングなどで意見を出し合っている。</li> <li>・その都度や毎日のミーティングの後で意見を出せるようになっている。</li> </ul>		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のところ実施することはできていない。</li> <li>・今後は外部評価を実施し、必要に応じて改善を図っていきたい。</li> <li>・分からない</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内研修については、全職員が出席している。</li> <li>・外部研修についても、受講希望があれば参加できる機会を確保している。（今年度はつくしんぼ学級にて1週間の研修を実施）</li> <li>・今年度は強度行動障害の基礎実践研修を受けたり、他事業所への実習を行っている。</li> <li>・法人内研修や強度行動障がい研修、新任研修、他事業所での実習に参加している。</li> <li>・法人内研修や強度行動障がい研修、新任研修に積極的に参加をしている。また、今年度は、療育の質を向上させるために任意で1週間、つくしんぼ学級にて実習を行ない、早速支援の中でも取り入れている。</li> </ul>		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年3月31日より、ホームページにて公表している。</li> <li>・今年度分については更新済みである。</li> <li>・作成し、ホームページで公表している。</li> <li>・行っている。</li> <li>・毎日支援プログラムを実施し、毎日記録に残している。</li> </ul>		

12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の5領域に基づく計画作成の改定に伴い、改めてアセスメントを実施し、支援計画の見直しを行っている。</li> <li>・従来の計画と比較して、より具体的かつ詳細な支援計画となっている。また、今年度は支援プログラム計画の作成もっており、より個々の特性に応じた計画の立案ができていと感じている。</li> <li>・本人や保護者にアセスメントを行って作成している。</li> <li>・1人ひとりの苦手なことを考慮して計画作成している。</li> <li>・面談などでアセスメントをとり、個別支援計画や個別支援実施プログラム計画で苦手な事や課題を克服できるように作成をしている。</li> </ul>	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画作成にあたっては、実際に支援を行う現場職員との共通理解を図るとともに、現場の意見を反映しながら作成している。</li> <li>・計画案を職員で共有し、良い点や改善等を話し合ったうえで計画を交付している。</li> <li>・職員同士で話をしながら作成している。</li> <li>・行なわれている。毎日のミーティングで情報を共有できるようにしている。</li> </ul>	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画作成の段階から職員に関わってもらい、意見を取り入れながら作成している。また、作成した計画（案）についても職員から意見をもらった上で計画を確定し、共有を行っている。</li> <li>・支援内容については、計画に沿って日誌を記載するよう指導している。</li> <li>・行われている。</li> <li>・行なわれている。アセスメントや面談を行なったさいには、他の職員にも情報を共有している。</li> </ul>	
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日誌や支援プログラム記録で記録している。</li> <li>・毎日の日誌や実施支援記録にその子の課題や成長の様子を毎日記入することが出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントの力については、まだ十分ではないと感じている。しかし、今年度は強度行動障害支援者養成研修の受講や各種研修への参加を通して職員間で共通理解を図ることができ、適切なアセスメントを行うための基礎づくりができたと感じている。今後は、アセスメント力の向上を意識した支援に取り組んでいきたい。</li> <li>・行われていない。</li> </ul>
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援内容については適切に実施しており、状況に応じて適宜見直しを行っている。</li> <li>・設定されている。</li> <li>・普段の子どもの様子を踏まえながら設定している。</li> <li>・「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の項目に分けてそれぞれ細かく課題やねらいを記入している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」については、各家庭や児童ごとに具体的な設定を行うまでには至っておらず、今後の改善が必要である。</li> </ul>

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの立案にあたっては、管理者の意見だけでなく、保育士、児童指導員、専門的支援員など多職種の見点を取り入れながら検討している。</li> <li>・今年度は例年と比較して、新たなプログラムの実施が多かったと感じている。</li> <li>・専門的支援員を中心に立案している。</li> <li>・職員間で話し合いながら行っている。</li> <li>・専門的支援員を中心にねらいを決めて考えている。</li> </ul>		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容については、四季や児童の特性、年齢層に応じて検討している。</li> <li>・また、職員の意見を反映しながら新たなプログラムの導入を行ってきた。</li> <li>・様々な療育視点で内容も固定化されないよう立案している。</li> <li>・同じプログラムは日の近いときに行わないようにしている。</li> <li>・毎月、「運動療育」「指先療育」「製作」「音楽療育」「ビジョントレーニング」「SST」「言語療育」がそれぞれまんべんなく入るように気を付けて取り組んでいる。</li> </ul>		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画においては、集団活動の中でも個別に取り組めるよう配慮した計画の作成を行っている。</li> <li>・集団活動ばかりにならないよう、いつ誰がどのような個別活動を行うか計画している。</li> <li>・支援プログラムの中で1対1で行なう個別支援プログラムも設けて、個人の苦手な所を活動を通して強化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方で、完全に個別活動に特化した計画の作成までは至っておらず、今後の課題である。</li> <li>・個別活動はあまり行えていない。</li> <li>・本当は毎月全員それぞれ行ないたいのが、曜日が固定の子が多く全員は出来ていない。</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出活動の際には、役割分担や事前に配慮すべきポイントについて話し合いを行っている。</li> <li>・行う支援について朝または送迎前に確認している。</li> <li>・毎朝ミーティングをしている。</li> <li>・毎朝、ミーティングを行ない、話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日職員間での打ち合わせを行っているが、役割の明確化までには至っていない。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日誌の記載にあたり、その日の出来事や支援の振り返りを行い、家庭への引き継ぎ事項についても共有している。</li> <li>・必ずではないが、何かあれば職員間で共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日誌に記入するのみになってしまうときもある。</li> <li>・日誌の記入をすると、勤務時間過ぎてしまうため終わりの後のミーティングは出来ていない。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援記録については、適切に記録するよう徹底している。現場職員が入力した後は、必ず管理者が内容を確認している。</li> <li>・また、必要に応じて管理者から助言を行い、支援内容の質の向上に努めている。</li> <li>・毎日支援記録を取っている。</li> <li>・毎日、日誌を記入しファイルにつづっている。</li> </ul>		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6か月に1度のモニタリングは欠かさず実施している。</li> <li>・行っている。</li> <li>・モニタリングを行っている。</li> <li>・毎日、日誌の記入を行なっている。それを基にメール会議を行なって様子を共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受給者証の更新時期に合わせてモニタリングを実施する予定であったが、全員分を実施することができなかったため、次年度以降は実施方法の見直しを検討していきたい。</li> </ul>	

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援プログラムの考案等を行い、4つの基本活動に基づいた支援に取り組むことができている。</li> <li>・行っている。地域に向けたイベント等での販売体験などで地域住民との交流機会も提供できている。</li> <li>・行っている。</li> <li>・計画をする際に取り入れて細かく記入している。</li> </ul>	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の選択については、職員が一部決定する場合もあるが、基本的には児童が自己選択できる機会を設けている。</li> <li>・個々の能力に応じて、2択や選択肢が限られた中からの選択を行うよう配慮している。</li> <li>・自分で発言して選択できない子供には選択肢を提示して指差し等で選択してもらっている。</li> <li>・自分の言葉で言えるように声掛けし、言葉で言えない子どもには絵カードなどを使うことができるようにしている。</li> <li>・自分で伝えられない子には、TEACHを取り入れてカードで伝えられるように工夫をしている。</li> </ul>	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には、管理者兼児童発達管理責任者が出席している。</li> <li>・している。</li> <li>・参加するものは、サビ官のため現場に入ることは少ないので詳しくは分かっていないが、子どもの様子は、現場職員が伝えている。</li> </ul>	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携の機会は限られている。</li> <li>・整っていない。</li> <li>・医療機関とは直接的なかわりはない。</li> <li>・小学校とは、連携を取って参観日などにも今年は見学させてもらっていたが、医療関係では、上川中部基幹相談支援センターが間に入って連携をとっているため、直接連携をとることはなかった。</li> </ul>
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の月間下校時間や年間スケジュールの確認を行い、トラブルなく活動を実施できている。</li> <li>・また、緊急時には適切に対応できている。</li> <li>・毎週学校から時間割を送ってもらっている。</li> <li>・送迎時やFAXでの連絡、情報共有をしている。</li> <li>・毎週、FAXで送迎時間の確認をしている。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には相談支援事業所との連携は行っているが、就学前の情報については各関係機関からの情報共有が十分ではない。</li> <li>・情報共有が出来ていると思うが保育園等からの情報は相談員づてに伝わっている。</li> <li>・分からない。</li> <li>・保育園や認定こども園からの情報はないが、児童発達支援施設（ぽっかぽか）では、引継ぎをしてもらっている。</li> </ul>
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は卒業生がいがないため対象外である。</li> <li>・必要に応じて障害福祉サービス事業所への情報提供は行っているが、事業所からの問い合わせがあった場合に対応する形となっている。</li> <li>・分からない。</li> </ul>

31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では、そのような機会は設けられていない。</li> <li>・設けていないと思われる。</li> <li>・設けていない。</li> <li>・分らない。</li> </ul>
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの公園に行く時に他の子どもと交流することが出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、地域との交流の機会はほとんどなく、必要性は感じているものの、放課後児童クラブや児童館は日々子どもも支援で手一杯である。</li> <li>・今後、地域子ども食堂などとの連携も検討していきたいと考えている。</li> <li>・活動する機会は無い。事業所裏の公園でお互いに遊んでいる際、流れて少し遊ぶことはある。</li> </ul>
33	(自立支援) 協会等へ積極的に参加しているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議等に参加しており、横のつながりを大切にしている。</li> <li>・サビ官が参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・していない。</li> <li>・参加していない。</li> </ul>
34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に引き継ぎを丁寧に行い、ご家庭での様子も確認しながら、児童の発達状況について理解を深めるよう努めている。</li> <li>・毎日保護者へ引き継ぎを行っている。</li> <li>・送迎時に引継ぎを行っている。</li> <li>・送迎時の引継ぎ時などで、毎日その日の様子や子どもの成長していることや課題について話をしている。</li> </ul>	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では該当する取り組みはなく、研修等の機会も設けられていない。</li> <li>・行っていない。</li> <li>・家族の参加できる研修は行っていない。</li> <li>・行っていない</li> </ul>
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・規程類については、変更があった際に全職員へ説明を行い、質問があった場合には適切に対応して内容の理解が深まるよう努めている。</li> <li>・利用契約の際に行われている。</li> <li>・面談や契約の際に行っている。</li> <li>・面談や利用契約時に説明を行ない、保護者から署名を頂いている。</li> </ul>	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の意向を尊重するとともに、ご家族の意向も丁寧に聞き取り、支援計画に反映している。聞き取りはモニタリング時に実施している。</li> <li>・計画面談等を行っている。</li> <li>・本人や家族から面談などで聞いている。</li> <li>・お家での様子や困っていること、伸ばして欲しい所をアセスメントして計画の方に取り入れて支援をしている。</li> </ul>	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての内容について丁寧に説明を行った上で、同意を得ている。</li> <li>・得ている。</li> <li>・面談の際に得ている。</li> <li>・面談や利用契約時に説明を行ない、保護者から署名を頂いている。</li> </ul>	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談は定期的な面談が中心で、必要に応じて面談は行っていない。希望があれば面談を実施できることを保護者に説明している。</li> <li>・行う体制はとっている。</li> <li>・契約や面談を行っているが、助言と支援は行っていない。</li> <li>・面談をして欲しいという家庭には、設置出来るが、今の所言ってくる家庭がない。</li> </ul>

40	<p>父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は1回のみであったが、新年交流会を実施している。非常に好評であり、次年度以降も継続していきたい。</li> <li>・また、事業計画の説明や報告を行う場も大切にし、保護者間の交流の機会も交えて実施したいと考えている。</li> <li>・今年度に初めて保護者を交えた新年会を行い、父母交流の場を設けている。</li> <li>・新年会を開催し、保護者同士や兄弟同士の交流を行った。</li> <li>・今まで行なっていなかったが、今年初めて新年会を開催し、保護者同士や兄弟同士の交流を行乳母をつくった。次年度は、もっと多くそのような交流できる場を作りたいと考えている所である。</li> </ul>	
41	<p>子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情対応の窓口については、面談時に説明を行っている。</li> <li>・今年度は苦情はなかったが、万が一発生した場合には迅速に対応する体制を整えている。</li> <li>・体制を整備している。</li> <li>・対応している。</li> <li>・送迎時についての要望があり、送迎を組む時に配慮をしたりなど適切に対応出来ている。</li> </ul>	
42	<p>定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手書きの通信を継続して作成しており、写真も取り入れて日々の様子をわかりやすく伝えている。</li> <li>・子ども達も楽しみにしている様子がみられ、保育士の努力に感謝している。</li> <li>・毎月通信を作成している。また、今年度からInstagramを開設し、普段の様子や行っているプログラムの予定を載せている。</li> <li>・毎月通信を発行、Instagramを開始している。パンフレットも作成している。</li> <li>・毎月、【はっばだより】を発行して、その月の様子を写真や文章を手書きで伝えている。親目線に立ち、子どもの一人ずつの様子も記入するようにしたり、イラストを書いて見となる工夫も行なっている。また、更新は低めだが、SNSも今年度から発信している。</li> </ul>	
43	<p>個人情報の取扱いに十分留意しているか。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室内の鍵付き書棚にて保管している。</li> <li>・している。</li> <li>・行っている。</li> </ul>	
44	<p>障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の状況に応じた情報伝達方法を検討し、適切な配慮を行っている。</li> <li>・配慮している。</li> <li>・絵カードなどを使ったり、LINEや文書での情報発信を行っている。</li> <li>・構造化にしたり、視覚的にも分かる様に工夫をしている。</li> </ul>	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の行事にも参加するとともに、事業所としてもイベントの企画・運営を行い、今年度は地域に根付いた運営ができた実感している。</li> <li>・子供向けのイベントを企画し、利用している子供だけでなく近隣の小中学校にもイベントのお知らせをしている。</li> <li>・地域のイベントに参加したり、法人や濃香とのイベントを行ったりして地域住民と交流している。</li> <li>・定期的にイベントや子ども縁日を行ない、チラシを近隣の保育園、幼稚園や学校に配布して参加出来るようにしている。</li> </ul>	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人研修などで行なって知識をつけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成済みであるが、周知はまだ行われていない。</li> <li>・分からない</li> <li>・子どもを交えての訓練は行っていない。</li> </ul>
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成済みであるが、訓練はまだ行われていない。</li> <li>・分からない</li> <li>・子どもを交えての訓練は行っていない。</li> <li>・子どもと一緒にには行っていないが、法人の中では定期的に避難訓練を行なっている。</li> </ul>
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況を確認しつつ、必要に応じて適切に対応している。</li> <li>・服薬変更があれば保護者から服薬情報を提出してもらっている。また、それらの情報は個別ファイルで保管されている。</li> <li>・契約前にフェイスシートを記入してもらっている。服薬変更があれば保護者から服薬情報を提出してもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ時などは服薬の確認をしているが、しばらく起こっていない発作などは把握していない。</li> </ul>
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、対象となる児童はいない。（医師の指示書に基づかないアレルギーについては、ご家庭から報告を受けている。）</li> <li>・アレルギーの児童はいるが、除去が必要な子は現在いない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスシートや口頭でのアレルギーの報告が保護者から伝えられているが指示書等はない。</li> <li>・保護者から口頭での対応方法はあるが、医師からの指示書はない。</li> </ul>
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練については、施設が役場建物内にあるため、役場の避難訓練に準じて対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面の配慮は随時行っているが、研修や訓練までは実施していない。</li> <li>・避難訓練等が行われているが、子どもがいる時には行っていない。</li> <li>・子どもを交えての訓練は行っていない。</li> <li>・定期的に消防の点検などは行なっているが、研修や訓練などはしていないと思う。</li> </ul>
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族への周知は行われていない。</li> <li>・周知していないと思われる。</li> <li>・していないと思う。</li> <li>・分からない。</li> </ul>
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止に向けたリスクマネジメントは実施しており、対応を行っている。</li> <li>・具体的な解決策を検討し合っている。</li> <li>・事故が起きた場合は、再発防止のために職員で情報共有してすぐに改善をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの共有は十分に行っていない。</li> <li>・次年度は、事故報告に留まらず、ヒヤリハットの取り扱いを徹底する予定である。</li> <li>・検討している。また、個別のヒヤリハット集の作成を検討している。</li> <li>・ヒヤリハットの書式を現在見直している最中</li> </ul>	



53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人として虐待防止研修を実施するとともに、管理者も外部研修を受講するなど、適切な対応を行っている。</li> <li>・虐待についての法人研修が行われている。</li> <li>・法人内などでの研修に参加している。</li> <li>・法人研修などで行なっている。</li> </ul>	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束は原則行わないことを前提とし、行動制止が必要な場合の手順について、各児童に合わせた説明文を作成し、説明の上で交付している。</li> <li>・行動制止についての同意書を交付している。</li> <li>・記載している。</li> <li>・契約時に行動制止についての同意書を交付し、具体的に説明を行ない署名をもらっている。</li> </ul>	